	ト教思想:		144070 0040 0		単位数	2単位
授業コ 担当者		15800	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2025年度第1期	
時間割	 備考					
授業形	態(主)	2 演習				
授業形	態(副)	1講義				
担当形研究分	態 野(大学					
	<u>野(入学)</u> の概要	IL/				
キリス	ト教は、	ーザレのイエスという人物を核とした宗教運動とし				
		t会の思想的な影響を強く受け、形成されたのであ ごれの時代、文化、文脈と応答しながら、さまざま			地・帝国王義時代、そして世界ス	、戦を経るなかで、キ
本科目	では、テー	-マに沿って履修者が持ち寄った文献を講読し、ブ	プレゼンテーションと	ニディスカッションを交え		世界宗教」となった
キリス	ト教の経	せである「聖書」を読み解くために必要な知識を身	につけ、キリスト教	枚の本質とアイデンティテ	ィを考察していく。	
1期でに	ま、イエス	の思想と行動原理について、当時の宗教、文化、オ	社会状況を踏まえて	検討していく。		
アクテ	ィブラー	ニングの実施内容 グループ・ディスカッシ	ョン			
到達目	標				対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
	聖書に記された事柄を字面通りに読み、理解しようとするのではなく、それが伝えようとするメッセージ 思考・判断・表現力/主体性 思考・判断・表現力/主体性					
	_ ,,,			NO 12 day 12		
聖書に記された事柄の史実性/非科学性ではなく、それが伝えようとするメッセージを考察できる 思考・判断・表現力/主体性 2						
3	キリスト	如の思想・概念を交えながら、イエスが示した人間	観・社会観を考察で	ごきる	知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
3						
4	イエス運動	かの変遷を整理し、その特徴を具体的に説明できる			知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
5						
成績証	価の基準				対応する到達目標の番号	
		なり組み態度(ディスカッション含む) 30%			<u> 対心 9 る到廷日保の留亏</u> 1/2/3	
		ション 30%			1/2/3	
2	2 1/2/3/4 1/2/3/4					
3	1- 1					
4						
5	ト ハ ナ フ・					
		牧員による授業科目 【 への活用方法				
	20014					
		音による授業 ニュー・ニュー				
,,,,,,,,	定一覧		・事後学修内容と時	間		
i. 1	ントロダ	ノンヨン				
事育	前学修	覆修する理由、意義を考え、まとめる				1時間
事後		イントロダクションを踏まえて考えた(考え直した 書籍を探す。	と)履修する理由、	意義をまとめる。また、自	分の関心を考察し、講読したい	1時間
2. 講	義:聖書					l .
事育	前学修	聖書とはいかなる書物なのかについて、書籍を探し	して調べ、まとめる			2時間
事後	後学修	溝義とディスカッションの内容を確認、整理する。	また、紹介された	書籍を読み、考察をまとめ	<u> </u>	2時間
		-ション:人間と神の関係				
事前	前学修	聖書に描かれた人間と神の関係について、書籍を掲 (A3 1枚程度) に起こす	深して調べ、まとめ	る。また、プレゼンテーシ	ョン担当者はまとめをレジュメ	2時間
事後	後学修	(A3「枚程度)に起こり ディスカッションの内容を確認、整理する。また、	紹介された書籍を	読み、考察をまとめる		2時間
4. プ	レゼンテ・	-ション:キリスト待望論				
事前		キリスト待望論とはなんであり、どのような社会書		かについて、書籍を探して	調べ、まとめる。また、プレゼ	2時間
事後		ンテーション担当者はまとめをレジュメ(A3 1枚程 ディスカッションの内容を確認、整理する。また、		読み、考察をまとめる		2時間
5. プ	レゼンテ-	-ション:イエスが生きた時代				
事前		イエスが活動していた時代に人々が置かれていたり		事情との関連から書籍を探	して調べ、まとめる。また、プ	2時間
事後		レゼンテーション担当者はまとめをレジュメ(A3 ディスカッションの内容を確認、整理する。また、		読み、考察をまとめる		2時間
7 12	שיו נ	THE PROPERTY OF STATE	THE COURT OF THE CO			F-17 [14]

6. プレゼンテーション:イエスと使徒たちの出会い					
事前学修	イエスの弟子となる人々がいかなる生活を送っていたのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション 担当者はまとめをレジュメ (A3 1枚程度) に起こす	2時間			
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間			
7. プレゼン ⁻	テーション:イエスが伝えた神の国①神				
事前学修	イエスが語った「神」とはどのような存在なのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者は まとめをレジュメ(A3 1枚程度)に起こす	2時間			
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間			
8. プレゼン	テーション:イエスが伝えた神の国②たとえ話				
事前学修	イエスがなぜたとえ話を用いたのか、またたとえ話で語られた「神の国」とはどのようなものなのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ(A3 1枚程度)に起こす	2時間			
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間			
9. プレゼン・	テーション:イエスが伝えた神の国③奇跡物語				
事前学修	聖書に描かれた奇跡物語が読者に何を伝えようとしているのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ(A31枚程度)に起こす	2時間			
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間			
10. プレゼン	テーション:イエスが伝えた神の国④ゆるしといやし				
事前学修	聖書で描かれる「ゆるし」と「いやし」とはどのようなものであり、それを受けた人々はどのように変化したのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ (A3 1枚程度) に起こす	2時間			
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間			
11. プレゼン	テーション:イエスに訪れた危機				
事前学修	イエスになぜ危機が訪れたのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ (A3 1枚程度)に起こす	2時間			
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間			
12. プレゼン	テーション:イエスの受難、死、復活①死への覚悟				
事前学修	イエスがいかにして死を受け入れていったのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はま とめをレジュメ (A3 1枚程度) に起こす	2時間			
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間			
13. プレゼン	テーション:イエスの受難、死、復活②最後の晩餐とゲツセマネの祈り				
事前学修	最後の晩餐でイエスが語ったことの意味は何であり、またゲツセマネの祈りで何を望んだのかについて、書籍を探して調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ (A3 1枚程度) に起こす	2時間			
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめ、レポートの執筆をはじめる	2時間			
14. 講義:イ	エスの受難、死、復活③復活顕現物語				
事前学修	弟子たちの復活体験とはどのような体験だったのかについて、書籍を探して調べ、まとめる	2時間			
事後学修	講義とディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめ、レポートの執筆を進める	2時間			
15. まとめ					
事前学修	キリスト教の思想・概念を交えながら、イエスが示した人間観・社会観を考察し、まとめる	3時間			
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめ、レポートの完成に取り組む	3時間			
試験等 レポート					
試験のフィー	ドバックの方法				
	明を受け付ける。 				
必携書(教科					
書籍名/者者	/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考				
	書(教科書販売以外) ノ発売元出版社ノ価格ノISBNノIIは体預別・備者				
	/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 狙 NI34DCH//日本聖書協会/3100/9784820212027/冊子版				
*授業時また	ンジュメにおいて示す。				
オフィスアワ· 火曜3限あるい	 はアポイントメント				
連絡先					
okada@m. ndsu.	ac. jp				

- ・受講数によっては開講されない場合がある。
 ・manaba folioを利用するので、各自リマインダ登録しておくこと。
 ・履修に際しては、2022年度2期「キリスト教学X」ないし2023年度以降開講の「キリスト教学II」の単位を取得していることが望ましい。
 ・これまにで履修した「キリスト教学」科目を踏まえ、理解を深めたい事柄について精査し、それに関連する文献を探しておくこと。
 ・受講者数によって、スケジュールに変更が生じる可能性がある。
- *本科目を「キリスト教学」科目の習得単位とみなすことはできない。

	スト教思想!						2単位
授業: 担当都	-	<u>15810</u> 岡田 i	<u> </u> 科目ナンバリンク Ⅲ理子	<u>/</u> 410Z0-2340-o2	開講年度学期	2025年度第2期	
時間割	引備考						
	/態(主)	2 演習					
授業# 担当#	彡態 (副) 彡態	1講義 単独					
	予野(大学	院)					
キリスニズム	マ・ローム:	社会の思想	的な影響を強く受け、形成さ	れたのである。さらに、宗教	で改革・大航海時代から植	部から生まれた。つまりキリスト教 民地・帝国主義時代、そして世界大	
			、文化、文脈と応答しながら て履修者が持ち寄った文献を			えることに軸足を置きつつ、いわゆ	る「世界宗教」と
なった 2期で	cキリストi け 1期「	教の経典で キリスト教	ある「聖書」を読み解くため 思想特講しに続くまのとして	に必要な知識を身につけ、キ C イエス運動がキリスト教	・リスト教の本質とアイデ として成立し 発展して	ンティティを考察していく。 きた今日までの過程をカトリック教会	≧を由心として凞観し
ていく		1 7 7 1 3	心心が特別で別くののとの、	こ、「二八座動が行う八下鉄	として成立し、光限して	こたうロみでの過程をカドグラク教	
アクラ	ティブラー	ニングの実	施内容				
到達目]標					対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
1	聖書に記る 考察できる		を字面通り読み、理解しよう	とするのではなく、それが伝	えようとするメッセージ	を思考・判断・表現力/主体性	XXXX C T F (I)
2	聖書に記る	された事柄	の史実性/非科学性ではなく	、それが伝えようとするメッ	セージを考察できる	思考・判断・表現力/主体性	
3	イエス運動	動以降のキ	リスト教の歴史的また思想的	な変遷を整理し、その特徴を	具体的に説明できる	知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
		ク教会が省	察してきた自らの使命につい	て、出来事や思想・概念を交	えながら具体的に説明で	き 知識・技能/思考・判断・表現:	カ/主体性
4	る						
5							
成績詞	平価の基準					対応する到達目標の番号	
1		取り組み態	度(ディスカッション含む) 	30%		1/2/3	
2	7067	, – , – ,	30 70			17 27 0	
3	レポート 40%						
4							
5							
	経験のある。 経験の授業・						
夫務並	金融の技業	への活用力	运				
日本部	語以外の言語	三に よる揺	举				
授業予	定一覧			事前・事後学修内容と	持間		
1. 1	「ントロダ	クション(1期の振り返り)				
事	前学修	履修する理	由、意義を考え、まとめる				1時間
事		イントロタ 書籍を探す		(考え直した)履修する理由、	意義をまとめる。また、	自分の関心を考察し、講読したい	1時間
2. 請	講義:使徒 :						
争		キリスト教 とめる	信仰における復沽の重要性、	また弟子たちの復活体験はと	どのような体験だったのか	いについて、書籍を探して調べ、ま	2時間
·			スカッションの内容を確認、	整理する。また、紹介された	と書籍を読み、考察をまと	: める	2時間
			原始キリスト教の成立				0.04.88
		めをレジュ	が組織化された肖景、動機、 メ (A3 1枚程度) に起こす ションの内容を確認、整理す			プレゼンテーション担当者はまと	2時間
			ユダヤ教との決別	る。 みた、 和月 でルに音相で	こので、方式とよこので		と 4寸 日]
				たユダヤ教との関係の変化。	キリスト教側が見出した	ニュダヤ教との相違について、書籍	2時間
		を調べ、ま	とめる。また、プレゼンテーションの内容を確認、整理す	-ション担当者はまとめをレシ	ジュメ (A3 1枚程度) に起		2時間
·			使徒たちの宣教				Z # () [A]
				フト数信仰もものしたが声	51 た社会・政治性につ	ハイ 津築を細ぶ せしゅう ナ	り吐甲
事前学修 キリスト教が成立した初期においてキリスト教信仰をもつ人々が直面した社会・政治状況について、書籍を調べ、まとめる。ま 2時間 た、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ(A3 1枚程度)に起こす 事後学修 ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる 2時間							2時間
	後学修 講義: 「異:			で。よに、和川されに書籍で	」がい、方示でよとの句		∠ N4 (日)
	前学修)「異端」に対してキリフし*	か会けいかに 対峙してきも	このかについて、書籍を調べ、まと	2時間
		める	はなにを指すのか、またての ションの内容を確認、整理す				2時间
Ŧ	~ 1 12		- コテ・バコロで肝臓、正生す	しゅ しっこく かはり しりりに目 相(- mo- 1 1 11 12 12 12 12 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13 13		E-4 (B)

7		
7. 「正統」信	情仰の形成	
事前学修	「異端」と「正統」信仰の関係の具体例(具体的な実践、解釈)について、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション 担当者はまとめをレジュメ (A3 1枚程度) に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
8. プレゼンラ	ーション:中世のキリスト教	
事前学修	中世ヨーロッパにおいてキリスト教会が権威主義化した要因(背景および論理)について、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ(A31枚程度)に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
9. プレゼンラ	ーション:宗教改革と対抗宗教改革	
事前学修	ルターが何を訴えようとし、それによってキリスト教会(のちのカトリック教会)はいかに応じたのかについて、書籍を調べ、 まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ(A31枚程度)に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
10. プレゼン	テーション:世界宣教の時代	
事前学修	カトリック教会による世界宣教において宣教師間にあった異なる宣教理解、「異教徒」理解について、書籍を調べ、まとめる。 また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ (A3 1枚程度) に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
11. プレゼン	テーション:近代の教会①第一バチカン公会議	
事前学修	公会議とはなんであり、なぜ開催されるのか、また第一バチカン公会議開催の背景、そこでの議論、その後のカトリック教会の 変化について、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ (A3 1枚程度) に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
12. プレゼン	テーション:近代の教会②第二バチカン公会議	
事前学修	公会議が再度開催された背景、第二バチカン公会議がもたらしたカトリック教会の変化とそれへの各地からの神学的また実践面での応答と課題について、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ (A3 1枚程度) に起こ	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
13. プレゼン	テーション:現代の教会①「地上を旅する」神の民	
事前学修	第二バチカン公会議閉幕以降(とくに1980年代以降)のカトリック教会が置かれた状況、いかなる理念によって何を訴えているのかについて、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまとめをレジュメ(A3 1枚程度)に起こす	2時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめる	2時間
14. 講義:現	代の教会②日本のカトリック教会と社会	
事前学修	日本におけるカトリック教会の状況および取り組みについて、書籍を調べ、まとめる。また、プレゼンテーション担当者はまと めをレジュメ (A3 1枚程度) に起こす	2時間
事後学修	講義とディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめ、レポートの執筆を進める	2時間
15. まとめ	<u></u>	
事前学修	第二バチカン公会議以降に提唱された神学を交えながら、現在のカトリック教会の役割と課題を考察し、まとめる	3時間
事後学修	ディスカッションの内容を確認、整理する。また、紹介された書籍を読み、考察をまとめ、レポートの完成に取り組む	3時間
試験等		
レポート		
試験のフィート	・ ドバックの方法	
	を受け付ける。	
必携書(教科書	ま 販売)	

書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考

必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考 中型聖書 横組 NI34DCH//日本聖書協会/3100/9784820212027/冊子版

*授業時またレジュメにおいて示す。

オフィスアワー

火曜3限あるいはアポイントメント

連絡先

okada@m.ndsu.ac.jp

- ・受講者数によっては開講されない場合がある。
 ・manaba folioを利用するので、各自リマインダ登録しておくこと。
 ・履修に際しては、1期「キリスト教思想特講!」から継続して履修しているか、2022年度2期「キリスト教学X」ないし2023年度以降開講の「キリスト教学II」の単位を取得していることが望ましい。
 ・これまにで履修した「キリスト教学」科目を踏まえ、理解を深めたい事柄について精査し、それに関連する文献を探しておくこと。
 ・受講者数によって、スケジュールに変更が生じる可能性がある。

- *本科目を「キリスト教学」科目の習得単位とみなすことはできない。

キリスト教文化特					単位数	2単位	
<u>受業コード</u> 担当者氏名	15820 岡田 紅理子	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2025年度第1期		
時間割備考							
受業形態(主)	2演習						
受業形態(副) 担当形態	1講義						
研究分野(大学院 本授業の概要							
キリスト教は世界 れるうえに、形成 を与えるだけでは 本科目のねらいは	背景、組織として(なく、自らもその) なく、自らもその! 、「東アジア」お から検討すること!	のあり方、信者が置かれて 土地の影響を受け、地域・	きた状況などはさまざる 国によって異なる発展でれる地域におけるキリス	まである。さらに、世界各 を遂げてきた。 スト教(特にカトリック教	ック教会、プロテスタント教会、 地に広まっていくなかで、キリス 会)の歩みと現在のありようを、	ト教は宣教地に影響	
対応するディブロフポリシー							
到達目標 ————————————————————————————————————					(1知識・技能/2思考・判断・		
キリスト教 1	キリスト教の信仰実践の多様性を考察し、論理的かつ具体的に説明できる知識・技能/思考・判断・表現力/主						
'							
	講義・プレゼンテーションで取り上げられた国・地域のキリスト教のありようについて、関連性や共通性 思考・判断・表現力/主体性 2 を考察できる						
講義・プレ 3 に反映でき		関連する事柄をインターネ	ットに頼らず書籍・論さ	文から主体的に調べ、課題	知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性	
4							
5							
成績評価の基準	11.40 3.45 ()	- L			対応する到達目標の番号		
1 授業への取	り組み態度(テイ)	スカッション含む) 30%			1/2/3		
2 プレゼンテ	ーション 30%				1/2/3		
_ レポート	40%				1/2/3		
3	1070				17 27 0		
4							
5							
実務経験のある教 実務経験の授業へ	(員による授業科目 の活用方法						
日本語以外の言語	による授業	=	5. 黄. 黄. 黄. 黄. 黄. 木.	. 88			
受業予定一覧 1. イントロダク	ション	4	事前・事後学修内容と時	[自]			
事前学修	髲修する理由、意義	を考え、まとめる				1時間	
事後学修	きえた(考え直した)履修する理由、意義を整	₹理、まとめる			1時間	
2. 講義:キリス	ト教宣教のはじま	IJ					
		仰が広まる背景にどのよう				2時間	
	t義内容を整埋する アジア」とは	。また、紹介された書籍を	·精読し、世界的なキリ. 	スト教宣教に対するキリス 	、ト教会側の意思をまとめる	2時間	
		こを指し、なぜそれがまと	まりをもった共同体から	のように概念化されてきた	のかについて書籍を調べ、まと	2時間	
ð)る	。また、紹介された書籍を				2時間	
1. 講義:台湾①	「四大族群」がつ	くってきた社会					
事前学修	民族的多様性に注目	しながら台湾の社会状況に	こついて書籍を調べ、ま	とめる		2時間	
事後学修	講義内容を整理する	。また、紹介された書籍を	精読し、自分のプレゼ	ンテーションに活かせる観	1点をまとめる	2時間	
5. 講義:台湾②	「麗しき島」とキ	リスト教					
事前学修	テリスト教に注目し	ながら台湾の宗教事情につ	いて書籍を調べ、まと	める		2時間	
事後学修	講 内容を整理する	。また、紹介された書籍を	·精読し、自分のプレゼ	ンテーションに活かせる観	記点をまとめる	2時間	

i. 講義:台》	弯③日本植民地統治から「光復」後のキリスト教	
事前学修	日本による植民地支配の歴史に注目しながら、日本の敗戦後における台湾の歴史について書籍を調べ、まとめる	3時間
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる	2時間
ディスカッ	 ソション:プレゼンテーションの構想	
事前学修	プレゼンテーションで取り上げる国・地域を決め、その宗教事情について書籍を調べ、まとめる	2時間
事後学修	ディスカッションで出た意見を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめ	2時間
プレゼンラ	る テーーション:中国、香港、マカオ	
事前学修	中国、香港、マカオにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめ	2時間
プレゼン=	る。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる テーション: モンゴル	
事前学修	モンゴルにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
		,,,,
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
. プレゼン	テーション:韓国、北朝鮮	
事前学修	韓国、北朝鮮における宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめ る。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
講義:日	本①日本キリスト教史の見取り図	
事前学修	日本におけるキリスト教宣教の歴史について書籍を調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義について考察 しながら、レポート執筆に取りかかる	2時間
講義:日	本②戦国大名たちと宣教師	
事前学修	キリシタン大名たちについて、かれらが宣教師とどのような関わ理を持っていたのかについて書籍を調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義について考察しながら、レポート執筆を進める	2時間
講義:日	本③迫害と潜伏、そして現代	
事前学修	「カクレキリシタン」ないし「潜伏キリシタン」の人々の信仰実践について書籍を調べ、まとめる	2時間
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義についての考	4時間
. 講義・デ	察を反映させながら、レポート執筆を進める ィスカッション:レポート講評	
事前学修	レポートでの工夫や困難について整理する	1時間
事後学修	ディスカッションで出た意見を踏まえてレポートの修正点を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践	2時間
. 講義:「	の多様性とそれが人々に果たす意義についての考察を反映させながら、レポートの執筆を進める 在日コリアン」、華人・華僑の人々とキリスト教	
事前学修	日本で暮らす「在日コリアン」、華人・華僑の人々の宗教との関わりについて書籍を調べ、まとめる	1時間
事後学修	レポートの修正点を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義につ	2時間
	いての考察を反映させたレポートの完成に取り組む	249 [4]
<u>験等</u> ポート		
	ドバックの方法 引を受け付ける。	
携書(教科書 籍名/著者/	書販売) /発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	

必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考

オフィスアワー 火曜3限あるいはアポイントメント

連絡先 okada@m. ndsu. ac. jp

- ・manaba folioを利用するので、各自リマインダ登録しておくこと。
 ・受講者の人数によっては開講されない場合がある。
 ・継続して2期「キリスト教文化特講!」も履修することが望ましい。
 ・受講者の人数によって、授業スケジュールに変更が生じる可能性がある。
 ・本科目は、高校までのような体系的知識の伝授を目指す座学中心の科目ではない。プレゼンテーション、レポート、ディスカッションに向けて主体的に調べ、考え、言語化する姿勢が求められる。
- *本科目は2022年度2期において「キリスト教文化特講II」として開講していた科目である。そのため、同科目の単位を取得した学生が本科目の履修を希望する場合は、履修登録を完了させるよりも前に、必ずメールにて相談すること。
- *本科目を「キリスト教学」科目の習得単位とみなすことはできない。

	、卜教文化*				100-# / W HB		2単位
授業コ	<u>ı — ド</u>	15825 岡田 紅理子	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	2025年度第2期	
担当者	氏名	岡田 社生了					
時間割	備考						
	態(主)	2 演習					
授業形 担当形	<u>態(副)</u> 能	1講義 単独					
	〉题 〉野(大学》						
	の概要	ョ ニナの /ランドを持	オス字数だしいわれる し	か ↓ _□□ [+ □ 7	し物」といっても、もし!	ック教会、プロテスタント教会、	声士工数会に士別さ
れるう	た叙は世紀	ド取入の信有数を擁 大背景、組織として	りる示教にといわれる。し のあり方、信者が置かれて	かし、一口に「キリス きた状況などはさまざる	ト教」といっても、カトリ まである。さらに、世界各:	ック叙芸、プロテスタント叙芸、 地に広まっていくなかで、キリス	R力正教芸に入別さ ト教は宣教地に影響
			土地の影響を受け、地域・			会)の歩みと現在のありようを、	これ ごれの 土地の汁
会、文	化との関係	系から検討すること	にある。2期では、1期の「	キリスト教文化特講!」	に続くものとして、「東南	会/ の多のと現在のありようを、 『アジア』に注目する。	てれてれのユエビの社
アクテ	・ィブラー:	ニングの実施内容	発見学習				
到達目	 l 標		I			対応するディプロマポリシー	
		の信仰宝珠の名様	性を考察し、論理的かつ具	体的に説明できる		(1知識・技能/2思考・判断・知識・技能/思考・判断・表現)	
1	イリストデ	の信仰天成の多様	圧を考察し、神理的がつ祭	体的に就例 くさる		和越"权能/心污"刊制"农坑》	77/ 工体任
	=# *	13		+ - # o + =			
	講報・フロ を考察です		取り上げられた国・地域の	キリスト教のありよう!	こついて、関連性や共通性	思考・判断・表現力/主体性	
	誰羊 ディ	. #\\.= \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	明本ナス東伝ナノハカーマ	…したあるず事体。 添っ	とから 主体的に調べ 調節	加強。比此之田老、刘屹。末田・	カノナル
	講義・ノI に反映でる		関連りる事例をインダー 不	ツトに积りり青精・픎)	くから土体的に調へ、 誄越	知識・技能/思考・判断・表現だ	刀/ 土141生
4							
5							
3							
	価の基準	7.11.41.7.45 中 / デ /	7 + 2 - 2 A+2 2004			対応する到達目標の番号	
1	授耒への	り組み態度(ティ	スカッション含む) 30%			1/2/3	
2	プレゼン	ーション 30%				1/2/3	
	レポート	40%				1/2/3	
3		40 70				1/ 2/ 3	
4							
5							
		<u>枚員による授業科目</u> ►の活用方法					
	以外の言 定一覧	語による授業 ニュー	13	事前・事後学修内容と時	: 18		
		プション(1期のおる		予防 学校子修り行と時	[1]		
-	W 14-	<u> </u>	\$ -				0.84.88
事	前学修	「東アジア」とはど める	こを指し、なぜそれがまと	まりをもった共同体か	のように概念化されてきた	のかについて書籍を調べ、まと	2時間
事行			:)履修する理由、意義を整	理、まとめる			2時間
				<u> </u>			
2. 講	義:「東	7ジア」とは					
事章	前学修	「東南アジア」とは	はどこを指し、なぜそれがま	とまりをもった共同体	かのように概念化されてき	たのかについて書籍を調べ、ま	2時間
		とめる				, correct that can to	200100
事行	後学修	構義内容を整理する	。また、紹介された書籍 <i>を</i>	·精読し、自分のプレゼ	ンテーションに活かせる観	点をまとめる	2時間
? ≣≢	 義:フィ	l ピン,					
о. _п	弁式・ノイ ・	, , ,					
事育	前学修	フィリピンの宗教事	情について書籍を調べ、ま	とめる。また、質問を	2点用意する		2時間
市	么 学 <i>体</i>	まぎ巾の た 軟 珊 士 2	また 初みされた事等 <i>も</i>	(蛙き) カハのプレギ	ゝ.ニー ゚.っゝ.! : 活かせて知	占た士しめて	2時間
→ 1	後学修	再我内谷を登珪する	。また、紹介された書籍 <i>を</i>	相続し、日分のプレセ	ノナーションに占かせ る観	はならのの	乙叶旧
4. デ		/ョン :プレゼンテ	ーションの構想				
-				4 7 A P 1/2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	いて事体ナミロューナー・ファ		0.5+88
事	前学修	ノレセンテーション	·で取り上げる国・地域を決	ぬ、その宗教事情につ	いて書耤を調べ、まとめる		3時間
事行	後学修	ディスカッションで	出た意見を整理する。また	:、紹介された書籍を精	読し、自分のプレゼンテー	ションに活かせる観点をまとめ	2時間
5 → °	レボンニー	る ション: ミャンマ-	- (ビルフ)				
J. J	レセンテー	ノョン:ミヤンマー	- (L/V Y)				
事	前学修	ミャンマー(ビルマ	⁷)における宗教事情につい	て書籍を調べ、まとめ	る。また、質問を2点用意す	する	2時間
±,	么 学 <i>吃</i>		.の中容を整理士	切入 ナムナ 事然 ナ 姉 士	1 白八の号には、- ・	コンルズかせて知りナナーは	O n.+ BB
事			vの内容を整理する。また、 vョン担当者は、出された質			ョンに活かせる観点をまとめ の主張を整理し、まとめる	2時間
						· · · · · · · · ·	

6. プレゼンテ	ーション:カンボジア	
事前学修	カンボジアにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	□ プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめ □ る。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
7. プレゼンテ	ーション: ベトナム	
事前学修	ベトナムにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめ る。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
8. プレゼン ⁻	テーション:タイ	
事前学修	タイにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめ る。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
9. プレゼン *	テーション:ラオス	
事前学修	ラオスにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめ る。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
10. プレゼン	テーション:マレーシア	
事前学修	マレーシアにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめ る。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
11. プレゼン	テーション:シンガポール、ブルネイ	
事前学修	シンガポール、ブルネイにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめ る。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
12. プレゼン	テーション:インドネシア、東ティモール	
事前学修	インドネシア、東ティモールにおける宗教事情について書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	プレゼンテーションの内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、自分のプレゼンテーションに活かせる観点をまとめる。プレゼンテーション担当者は、出された質問や批判を踏まえて書籍を再精読したうえで自分の主張を整理し、まとめる	2時間
13. 講義:日	本における外国籍者とカトリック教会	
事前学修	日本で暮らす外国籍者の宗教との関わりについて書籍を調べ、まとめる。また、質問を2点用意する	2時間
事後学修	講義内容を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義について考察しながら、レポートを執筆する	3時間
14. レポート	大声	
事前学修	レポートでの工夫や困難について整理する	1時間
事後学修	レポートの修正点を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践の多様性とそれが人々に果たす意義についての考察を反映させながら、レポートの執筆を進める	2時間
15. ディスカ	ッション:まとめ	
事前学修	半期の学びを通して気づいたキリスト教信仰の実践の多様性と意義についてまとめる	1時間
事後学修	ディスカッションで出た意見を踏まえてレポートの修正点を整理する。また、紹介された書籍を精読し、キリスト教信仰の実践 の多様性とそれが人々に果たす意義についての考察を反映させたレポートの完成に取り組む	2時間
試験等		
レポート		
	ドバックの方法	
ノールでの負	問を受け付ける。 	
必携書(教科書 建築名 / 英書	書販売) /発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
百相句/ 百白/	・元光ル山瓜江/ 117 1007 殊怪性別・開布	

必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考

オフィスアワー 火曜3限あるいはアポイントメント

連絡先

okada@m. ndsu. ac. jp

- ・manaba folioを利用するので、各自リマインダ登録しておくこと。
 ・1期「キリスト教文化特講I」から継続して履修することが望ましい。
 ・受講者の人数によっては、開講されない場合がある。
 ・受講者の人数によって、授業スケジュールに変更が生じる可能性がある(一部、学外講師を招聘する可能性もある)。
 ・本科目は、高校までのような体系的知識の伝授を目指す座学中心の科目ではない。プレゼンテーション、レポート、ディスカッションに向けて主体的に調べ、考え、言語化する姿勢が求められる。
- *本科目を「キリスト教学」科目の習得単位とみなすことはできない。

<u>キリスト教文字</u> 授業コード		科目ナンバリング	M1070 2240 e2	開講年度学期		2単位
担当者氏名	15850 山根 道公	谷日ナンハサンケ	410Z0-2340-o2	用舑平及子規	2025年度第Ⅰ期	
時間割備考						
授業形態(主)	1講義					
授業形態(副) 担当形態	単独					
担国形態 研究分野(大学						
本授業の概要	·					
と愛、神と悪魔	、アガペーとエロス		と罰、愛と許し、人間で	存在の根源的渇望、同何	キリスト教や聖書と関わる作品を取 ¥者イエス等のキリスト教的テーマに	
アクティブラー	ニングの実施内容					
到達目標	対応するディプロマポリシー					
	^{生口保}					表現力/3王体性)
1 1	放来で取り上いる。	作品に りいて 日力 の歌解 やえ	息先を述べることができ	්	心与「刊倒」及玩力/ 主体任	
2. 芥川龍 2 ことができ		スト教に関係したテーマで、	その作品を読解、分析	してレポートにまとめ	る 知識・技能/思考・判断・表現	
3						
4						
5						
成績評価の基準	·	. 10			対応する到達目標の番号	
1 授業中の3	発言とリアクション	·レホート (30%)			1	
2 Ⅰ期末レ	ポート (70%)				1/2	
3						
4						
5						
実務経験のある実務経験の授業	教員による授業科目 への活用方法					
日本語以外の言 授業予定一覧	語による授業	3	事前・事後学修内容と時	目		
	学者とキリスト教に		東前・東阪子修門台と 時	[F]		
事前学修	シラバスを読んで揺	受業で取り上げる作品につい	ヽての理解を深めて授業(こ臨むこと		2 時間
				ポートとしてマナバで扌	是出すること。期末レポートの資料	2 時間
	にできるように、£ 破恋体験とキリスト	受業の内容を復習し、まとめ 〜教	つておくこと。			
	授業で取り上げる(めて授業に臨むこと		美中に指示するので、予	習として主体的に問題だ	意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
		て、自分の意見、質問等をま 受業の内容を復習し、まと <i>は</i>		ポートとしてマナバで打	是出すること。期末レポートの資料	2 時間
3「老狂人」						
	めて授業に臨むこと	۷.			意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
		て、自分の意見、質問等をま 受業の内容を復習し、まと <i>は</i>		ポートとしてマナバで!	是出すること。期末レポートの資料	2 時間
4「羅生門」						
	授業で取り上げる(めて授業に臨むこと		美中に指示するので、予	習として主体的に問題	意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
		て、自分の意見、質問等をま 受業の内容を復習し、まと <i>は</i>		ポートとしてマナバで打	是出すること。期末レポートの資料	2 時間
)糸」「杜子春」「	· · ·				
	授業で取り上げる(めて授業に臨むこと		中に指示するので、予	習として主体的に問題だ	意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
		て、自分の意見、質問等をま 受業の内容を復習し、まと&		ポートとしてマナバで	是出すること。期末レポートの資料	2 時間

「煙草と悪魔	」「るしへる」	
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料 にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
奉教人の死	J	
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
きりしとほ	ろ上人伝」	
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
「南京の基督		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料 にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
「神々の微気		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料 にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
「おぎん」	「おしの」	
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料 にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
「歯車」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
「西方の人」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料 にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
「続西方の)		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
芥川龍之介の	D魂の渇望と死と聖書・(期末レポート作成について)	
事前学修	これまでの授業を振り返り、レポートに取り上げる作品、テーマ、方法など考え、問題点があれば質問できるように準備して授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
験等 期の期末した	ポート (課題の内容については授業中に説明する)	
朔07朔 水 レバ	・ 1: (麻風の内音に 20・こは及来中に助めする)	
	ドバックの方法	
	ンポートに対する応答は授業内に行う。 こついては、必要に応じてマナバで行う。	
携書(教科書	『MODIA グ発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	

必携書・参考書(教科書販売以外) 書籍名/著者/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考

〈参考書等〉 適宜、授業内で紹介する。

オフィスアワー オフィスアワーは金曜日12:30−13:00. 質問、相談等は授業直後および随時、電子メールで受け付ける。

連絡先 yamane@m.ndsu.ac.jp

留意事項
取り上げる作品は事前に読んで授業に臨むこと。
リアクションレポートに意見・質問などをまとめて提出してもらうので主体的に授業に臨むこと。

キリス 授業コ	ト教文学特	持講Ⅱ 15855	科目ナンバリング	410Z0-2340-o2	開講年度学期	単位数 2025年度第2期	2単位
担当者		山根道公	114 6 7 2 7 7 7 2 7	11020 2040 02	IN EXITEMENT	2020年及第2前	
時間割	佛老						
	態(主)	1 講義					
	態(副)						
研究分	·野(大学院	単独 記) 【					
日本のら、人	間と人間を	超えたものとの関	係と相克、エゴイズムと愛	、アガペーとエロス、	父性的神と母性的神、狷	系の深い遠藤周作を取り上げる。作家 ほと罰、愛と許し、人間存在の根源的 fの方法と論文へのまとめ方の技術を	渇望、同伴者イエス
アクテ	ィブラーニ	ングの実施内容					
到達目	標					対応するディプロマポリシー (1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
1	1. 各回の	受業で取り上げる作	作品について自分の読解や 意	気見を述べることができ	る。	知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
	2. 遠藤周 とができる		ト教に関係したテーマで、そ	子の作品を読解、分析 U	てレポートにまとめる	コ 知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
3							
4							
5							
	価の基準 ・授業由 <i>σ</i>	発言・リアクショ	ンレポート…30%			対応する到達目標の番号	
2		ポート…70%				2	
3							
4							
5							
		対員による授業科目					
実務経	験の授業へ	、の活用方法					
口木語	いめの言語	られている による 授業					
授業予	定一覧 ま作とキリ		=	『前・事後学修内容と時	間		
	3.1. =		g業で取り上げる作品につい	ての理解を深めて授業	に臨むこと		2 時間
市 4	6. 24 hb 1	四世の中京について	。		+		0.04.88
→ 12			、自分の息見、負向寺では 受業の内容を復習し、まとめ		ホートとしてマテハで	是出すること。期末レポートの資料	2 時間
2遠藤原	割作と母と	岡山					
事前		受業で取り上げる作 かて授業に臨むこと		中に指示するので、予	習として主体的に問題』	意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
	1		て、自分の意見、質問等をま 受業の内容を復習し、まとめ 		ポートとしてマナバで打	是出すること。期末レポートの資料	2 時間
	ò	めて授業に臨むこと	•			意識をもって読み、自分の考察を深 是出すること。期末レポートの資料	2 時間
	1		受業の内容を復習し、まとめ			た山すること。 ガイレバー 1の具行	Z #Ţ [B]
事前		受業で取り上げる作 かて授業に臨むこと		中に指示するので、予	習として主体的に問題だ	意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
事後	後学修 技	受業の内容について	、自分の意見、質問等をま		ポートとしてマナバで	是出すること。期末レポートの資料	2 時間
5「海。	と毒薬」	こでさるように、哲	受業の内容を復習し、まとめ 	ておくこと。			
事前		受業で取り上げる作 かて授業に臨むこと		中に指示するので、予	習として主体的に問題	意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
事後	美学修 技	受業の内容について			ポートとしてマナバで	是出すること。期末レポートの資料	2 時間
6「お/	「カさん」	「聖書のなかの女情	生たち」				
	ð	りて授業に臨むこと	0			意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
事後			て、自分の意見、質問等をま 受業の内容を復習し、まとめ		ボートとしてマナバで	是出すること。期末レポートの資料	2 時間

「わたしが・勇	東てた・女」	
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料 にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
満潮の時刻」		
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
「沈黙」	にてきるように、技术の内容を接自じ、よどのでおくこと。	
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
事後学修	めて授業に臨むこと。 授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料	2 時間
)「死海のほと	にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。 り」	
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
	めて授業に臨むこと。 授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料	2 時間
1「侍」	にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	
	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
	めて授業に臨むこと。 授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料	2時間
	反案が内容について、自力の意見、負向等をよどのでサブランコンレバードとしてマブバで提出すること。例末レバードの負荷にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 时间
2「女の一生」		
	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料 にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
3「スキャンダ	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深めて授業に臨むこと。	2 時間
事後学修	授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料 にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 時間
4「深い河」		
	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
	めて授業に臨むこと。 授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料	2 時間
5遠藤周作の魂	にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。 の故郷への帰還・ (Ⅱ期の期末レポート作成について)	
事前学修	授業で取り上げる作品については、事前に授業中に指示するので、予習として主体的に問題意識をもって読み、自分の考察を深	2 時間
	めて授業に臨むこと。 授業の内容について、自分の意見、質問等をまとめてリアクションレポートとしてマナバで提出すること。期末レポートの資料	2時間
	反案の内容について、自力の意見、負向等をよどのでサブラジョンレバードとしてマブバで提出すること。朔末レバードの負荷にできるように、授業の内容を復習し、まとめておくこと。	2 时间
式験等 明末レポート(課題の内容については授業中に説明する)	
試験のフィード 必要に応じてマ		
込携書(教科書 ************************************		
ョ相句 ∕ 有白 ∕	発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
	(教科書販売以外)	
F籍名/著者/	発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
	作品については授業中に指示する。	
受業で資料を配	布する。	
ナフィスアワー		
・ ノィスアワー	は金曜日12:30-13:00。質問、相談等は授業直後および随時、電子メールで受け付ける。	
基絡先		

16 / 20

留意事項 〇授業が一方通行にならないようにリアクションレポートに毎回、意見・質問等のメモを書いてもらう。受講者は主体的に授業に臨むこと。

キリス	スト教文学	演習Ⅰ				単位数	2単位
授業:	コード 皆氏名	15860 山根 道公	科目ナンバリング	410Z0-3400-o2	開講年度学期	2025年度第1期	
時間割	 引備考						
授業F	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2 演習					
授業	杉態 (副)	2					
担当月	½態 √野(大学)	単独					
	で野 (人子)	元/					
家は 教的:	実に多い。 注題(神・	また、外国のキリス	、ト教と関わる文学作品から 、…)や聖書的表現などを先	も多大な影響を日本のこ	文学者は受けている。そ	めとしてキリスト教と関わりのあるうした文学作品を取り上げ、そこに それを踏まえて自分の選んだ作品の	こめられたキリスト
		ニングの実施内容	調査学習			対応するディプロマポリシー	
到達	目標					(1知識・技能/2思考・判断・	表現力/3主体性)
1	演習中に	取り上げる作品およ	びその発表について自分の	読解や意見を述べること	とができる。	知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
2		教や聖書との関わり 発表することができ	のある作品を取り上げ,キ :る。	リスト教的主題や聖書的	的表現等に注目して分析,	知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
3	自分の演	習の発表を基にし、	論文作成の手順と技術に即	して、論文を完成させる	ることができる。	知識・技能/思考・判断・表現	力/主体性
4							
5							
	T/T 0 # #						
成績詞	平価の基準	の発表…30%				対応する到達目標の番号 1/2	
2			アクションペーパー…30%			1/2	
3	期末レポー	− ⊦······40%				1/2/3	
4							
5							
実務約	圣験のある	教員による授業科目					
		への活用方法	•				
		語による授業					
	予定一覧 フトロダク	· - · ·	<u> </u>	事前・事後学修内容と時	: 間		
	· - / /						
事	前学修	・シラバスを読んで	で自分が取り上げる作家、作	F品の候補について考え	、それらを読んで授業に	臨むこと。	2時間
事	後学修	授業の内容を踏まえ	えて、自分が取り上げる候補	非になる作品について理	解を深めておくこと。		2 時間
2 +1	Jスト教と	関わる作家と文学作	品について				
		演習で取り上げる作 るように準備してお		まするので、予習として	読んでおき,他の発表者	の作品に対して積極的に発言でき	2 時間
	後学修						2 時間
			表及び先行研究の調査の方				
	前学修	きるように準備して	ておくこと。		て読んでおき、他の発表	者の作品に対して積極的に発言で	2 時間
		授業の内容について	て整理して理解を深めておく	こと。			2 時間
4発表	Œ						
事	前学修	演習で取り上げる(るように準備しても		まするので、予習として	読んでおき、他の発表者	の作品に対して積極的に発言でき	2 時間
事	後学修	授業での質疑応答な	など整理して、自分の論文作	F成に活かせるようにま	とめておくこと。		2 時間
5発表	2						•
事	前学修	・演習で取り上げる きるように準備して		旨示するので、予習とし	て読んでおき、他の発表	者の作品に対して積極的に発言で	2 時間
事	後学修	授業での質疑応答な	など整理して、自分の論文作	F成に活かせるようにま	とめておくこと。		2 時間
6 発表	長③						
事	前学修	・演習で取り上げる きるように準備して		旨示するので、予習とし	て読んでおき、他の発表	者の作品に対して積極的に発言で	2 時間
事	後学修	授業での質疑応答な	など整理して、自分の論文作	F成に活かせるようにま	とめておくこと。		2 時間
_							

7 発表④					
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間			
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間			
8発表⑤					
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言で きるように準備しておくこと。	2 時間			
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間			
9 発表⑥					
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間			
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2時間			
10 発表⑦					
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間			
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2時間			
11発表⑧					
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間			
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間			
12発表⑨					
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間			
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間			
13発表⑩					
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間			
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間			
14発表①					
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言できるように準備しておくこと。	2 時間			
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間			
15研究発表を2	沓まえた論文(期末レポート)作成の方法について				
事前学修	・自分の研究発表について論文にする上での問題点等について質問できるように準備しておくこと。	2 時間			
事後学修	授業の内容を整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2時間			
試験等	(課題は授業中に指示)				
カスレバー	(体屋は)又不干に追かり				
	ドバックの方法 があれば期末レポートの講評を行う				
必携書(教科書販売)					
書籍名/著者/	が成立が /発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考				
	書(教科書販売以外) /発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考				
読んでくるべき	き作品については授業中に指示する。 I				
オフィスアワー オフィスタワーは、金曜日12:30-13:00 質問は随時、授業の後、また電子メールで受け付ける。					
連絡先					
yamane@m. ndsu. ac. jp					
留意事項					
・演習では他の発表者の作品に対して積極的に発言できるようにすること。					

キリスト教文字					単位数	2単位
受業コード 担当者氏名	15870 山根 道公	科目ナンバリング	410Z0-3400-o2	開講年度学期	2025年度第2期	
時間割備考						
受業形態(主)	2 演習					
受業形態(副)	単独					
担当形態 研究分野(大学)						
本授業の概要						
家は実に多い。 数的主題(神・	また、外国のキリス	スト教と関わる文学作品から し…)や聖書的表現などを先	も多大な影響を日本のス	文学者は受けている。	じめとしてキリスト教と関わりのある そうした文学作品を取り上げ、そこに、それを踏まえて自分の選んだ作品の	ここめられたキリスト
アクティブラー: 到達目標	ニングの実施内容	調査学習			対応するディプロマポリシー	
	D L L 냐 7 & D +>	よびその発表について自分の	きぬんきョナナ ジファー	よう	(1知識・技能/2思考・判断 知識・技能/思考・判断・表現	
海首中に 1	メッエける作品ので	よいその完衣に りいて自分の	沈胜や息見を迎へること	こかできる。	川誠・技能/ 心考・刊断・衣坊	2月/ 主体注
	牧や聖書との関わり 発表することができ	りのある作品を取り上げ、キ きる。	リスト教的主題や聖書的	り表現等に注目して分 材	折, 知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
自分の演習	習の発表を基にし、	. 論文作成の手順と技術に即	して、論文を完成させる	ることができる。	知識・技能/思考・判断・表現	カ/主体性
4						
5						
 					 対応する到達目標の番号	
	の発表…30%				1/2	
演習中の	上体的参加能度。!	リアクションペーパー…30%			1/2	
カギレポー	- ト·······40%				1/2/3	
3						
4						
5			_			
実務経験のある。 実務経験の授業・	≬員による授業科 への活用方法	<u> </u>				
大切性歌(7)支末	100万万万万万					
日本語以外の言 受業予定一覧	吾による授業	3	事前・事後学修内容と時	門		
スポッピー見 I イントロダク・	ション		世別・争後子修内谷と時	[H]		
事前学修	・シラバスを読ん	で自分が取り上げる作家、作	F品の候補について考え.	、それらを読んで授業	に臨むこと。	2時間
事後学修	授業の内容を踏ま	えて、自分が取り上げる候補	#になる作品について理	解を深めておくこと。		2 時間
2 キリスト教と	関わる作家と文学	作品について				
			まするので、予習として	読んでおき、他の発表	者の作品に対して積極的に発言でき	2 時間
事後学修	るように準備して	おくこと。				2 時間
3 キリスト教と	関わる作品の研究	発表及び先行研究の調査の方	法について			
事前学修	・演習で取り上げ きるように準備し		旨示するので、予習とし	て読んでおき,他の発	表者の作品に対して積極的に発言で	2 時間
		て整理して理解を深めておく	こと。			2 時間
4発表①						l
	演習で取り上げる るように準備して		するので,予習として	読んでおき,他の発表	者の作品に対して積極的に発言でき	2 時間
	授業での質疑応答	など整理して、自分の論文作	■成に活かせるようにま	とめておくこと。		2 時間
発表②						
事前学修	・演習で取り上げ きるように準備し		f示するので、予習とし [*]	て読んでおき,他の発	表者の作品に対して積極的に発言で	2時間
事後学修	授業での質疑応答	など整理して、自分の論文作	F成に活かせるようにま	とめておくこと。		2 時間
6 発表③						
事前学修	・演習で取り上げ きるように準備し		f示するので、予習とし [*]	て読んでおき,他の発	表者の作品に対して積極的に発言で	2 時間
事後学修	授業での質疑応答	など整理して、自分の論文作	F成に活かせるようにま	とめておくこと。		2時間

7 発表④		
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言で きるように準備しておくこと。	2時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
8発表⑤		
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言で きるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
9 発表⑥	<u>'</u>	
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言で きるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
10 発表⑦	<u> </u>	
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言で きるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2時間
11発表⑧		
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言で きるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
12発表⑨		
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言で きるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
13発表⑩		
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言で きるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
14発表⑪		
事前学修	・演習で取り上げる作品は、事前に授業中に指示するので、予習として読んでおき、他の発表者の作品に対して積極的に発言で きるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業での質疑応答など整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
15研究発表を記	* 沓まえた論文 (期末レポート) 作成の方法について	
事前学修	・自分の研究発表について論文にする上での問題点等について質問できるように準備しておくこと。	2 時間
事後学修	授業の内容を整理して、自分の論文作成に活かせるようにまとめておくこと。	2 時間
試験等		
期末レポート	(課題は授業中に指示)	
	ドバックの方法	
マナバで必要だ	があれば期末レポートの講評を行う	
必携書(教科	書販売)	
書籍名/著者	/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
	書(教科書販売以外)	
書籍名/著者	/発売元出版社/価格/ISBN/媒体種別・備考	
= ナーボノフ ギ	セルロニ ヘンプは極楽市に化ニナス	
	き作品については授業中に指示する。	
オフィスアワ- オフィスタワ-	- −は、金曜日12:30−13:00 質問は随時、授業の後、また電子メールで受け付ける。	
連絡先 vamana@m_nday	v ag in	
yamane@m. ndsu	ı. ac. jp	
留意事項 ・演習でけか/	D発表者の作品に対して積極的に発言できるようにすること。	
・庾百では他(ル九以日以 IF四に刈して倶怪叫に北百できるようにすること。	